

瑞穂の里

～ 子供たち一人一人のよさが輝く学校を目指して ～

角田市立北郷小学校
学校便り
第3号(文責:校長)
令和2年5月29日

～ 6月1日から学校を再開します ～

5月21日から始まった「ならし登校」も本日で一区切りになりました。これまで、国語、算数を中心に毎日3時間の授業を行ってきました。4月に入学式を終えた1年生は、日を追うごとに集中して学ぶ様子が見られるようになり、2～6年生も、友達との距離の取り方や会話の仕方に気を付けながら、落ち着いて学習に取り組んでいます。北郷小の教育活動再開に向けて、どの学年も準備が整ってきたことを実感しております。

子供たちを迎えるに当たり、校長室前の掲示板に、詩「空にぐうんと手をのばせ(新沢としひこ作)」を掲示しました。この詩は、国語の教科書にも掲載されたことがある作品です。大きな空や海に向かって「ぐうん」と手を伸ばし、子供たちみんなが伸びていってほしいという願いを込めて、選定いたしました。

保護者の皆様におかれましては、臨時休業やならし登校への対応等につきまして、御協力をいただいておりますこと、本当にありがとうございます。改めまして、感謝申し上げます。

いよいよ6月1日から学校を再開いたします。子供たちが引き続き安全に生活することができるよう、職員一同、細やかに対応してまいります。

今後とも、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



今月の詩
「空にぐうんと手をのばせ」

～ 大切にしたい「感謝の心」子供から学んだこと ～

5月7日(木)、市内一斉の臨時登校日のことです。下校時刻に昇降口にいると、「マスクもらった!」と、教えてくれた女の子がいました。「御礼を言いたいけれど、どこにいったらいいか分からないから。」と話してくれました。「先生達でみんなの分も代表して御礼を言っておくね。」と伝え、さよならをしました。

この女の子の言葉には、二つのメッセージが込められていると感じます。一つは、担任の話をよく聞き、自分たちのためにマスクを届けてくれた方がいることをしっかりと理解したことです。臨時登校中の学級活動は短く、家庭学習を含めて様々な連絡事項があります。そのような中でも、マスクを届けてくださった方々の思いをしっかりと受け止めています。

もう一つは、(御礼を伝えたい。)という気持ちを素直に表現してくれたことです。

感謝の心を伝えたい・・・という思いを話してくれたことがとても嬉しく、また、「感謝する心」はいくつになっても忘れてはいけないことであると改めて感じた次第です。

学校近くの庄司商店様、北郷更生保護女性会の皆様方をはじめ、たくさんの方々から、マスクをいただきました。大切に使用させていただきます。大変ありがとうございました。



北郷更生保護女性会の皆様
～マスクの寄贈～

